

# 食育健康サミット 2014 の開催について

2014 年 11 月 吉日

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構

米穀機構では、公益社団法人 日本医師会と共催で、生活習慣病の予防・治療におけるごはんを主食とした日本型食生活の有用性等について、毎年、医師、栄養士等の方々を対象に、食育健康サミットを開催しており、本年度は、「性・年齢別疾病の発症予防・重症化予防と日本型食生活の役割」をテーマに、11 月 27 日(木)13:30 から東京・駒込の日本医師会館大講堂において開催いたします。

厚生労働省の「国民健康・栄養調査(平成 24 年)」によると、BMI 25 以上の肥満者の割合は、男性の約 3 割、女性の約 2 割です。一方、BMI18.5 未満の低体重(やせ)の割合は女性では一割強、特に、若い女性でその傾向は顕著です。さらに 65 歳以上の高齢者では 6 人に 1 人が低栄養傾向(BMI $\leq$ 20)であるなど、日本人の栄養状態は性・年齢別に多様化している傾向が見られます。

また、厚生労働省では「日本人の食事摂取基準(2015 年度)」策定検討会報告書を本年 3 月に公表しており、同報告書では、従来の国民の健康の保持・増進、生活習慣病の一次予防(発症予防)に加え、主要な生活習慣病の重症化予防も視野に入れて策定されており、エネルギー摂取量の過不足の評価指標に BMI を採用しています。

そこで、本年度の食育健康サミットでは、「日本人の食事摂取基準(2015 年版)」において、成人のエネルギーの指標として示された「目標とする BMI の範囲」を踏まえ、日本人の性・年齢別 BMI の現状から、疾病の発症予防・重症化予防のための望ましいエネルギーと栄養素について改めて見直し、日本型食生活の役割について考えます。

## 食育健康サミット 2014

### 「性・年齢別疾病の発症予防・重症化予防と 日本型食生活の役割」をテーマに開催

◇日 時：11 月 27 日(木) 13:30~17:00 (受付 13:00~)

◇会 場：日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込 2-28-16)

#### ◇基調講演

講演Ⅰ 生活習慣病の発症予防・重症化予防のための食事処方

一性・年齢別の栄養問題を踏まえて

神奈川県立保健福祉大学学長

中村 丁次 先生

講演Ⅱ 若い女性のやせ志向と危惧される次世代の生活習慣病リスク

早稲田大学総合研究機構研究院教授

福岡 秀興 先生

講演Ⅲ 中高年の肥満対策と生活習慣病予防のための食事処方

あいち健康の森健康科学総合センター センター長

津下 一代 先生

講演Ⅳ 高齢者の介護予防・虚弱(フレイル) 予防のための食の在り方

名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学教授 葛谷 雅文 先生

#### ◇パネルディスカッション

テーマ：性・年齢別疾病の発症予防・重症化予防と日本型食生活の役割